

# Global Session



## CONTENTS

- ① イベント
- ② コラム
- ③ ご案内



ユースボランティアが運営しているGlobal Session。6月13日(日)、3人の高校生を中心に国際交流「アマビエちりめん人形と一緒に作りませんか?」がオンラインで開催されました。

日本の学生5名と外国人留学生5名が参加し、人形製作手順の生配信を見ながら作品作りに挑戦、ころんとしたフォルムのカラフルなアマビエが完成しました。交流タイムでは、「日本語学習のきっかけ」から「各国のデート事情」に至るまで大いに盛り上がり、親睦を深めた1日となりました。

完成した可愛いアマビエは、新型コロナウイルスの終息をお互いに願って飾ることにしました。一年近く運営に携わっていただいた実行委員の皆さん、お疲れ様でした!!



▲可愛いアマビエができました



▲作り方を見ながら一緒に作りました



▲中央3人は中心となった実行委員の高校生



▲最後にみんなで記念撮影



大好き!

# SAITAMA さいたま



PhD アブドル クドスさん(バングラデシュ)

バングラデシュの都市ラジシャヒ<sup>※1</sup>の出身PhD アブドルクドスさんにお話を伺いました。

郷里のラジシャヒは教育都市であると共にマンゴー果実の産地でもあるそうです。英語、ベンガル語、ヒンズー語、アラビア語と日本語も話すベンタリンガル(Unbelievable!)



▲家族と(アブドルさんは右)

2019年9月、日本政府推薦の奨学金制度<sup>※2</sup>で研究者として単身来日し、埼玉大学院で3年間、再生可能エネルギー関連の研究をします。その後、更に研究職務に就いたのち帰国したい。日本を選んだ

理由は、良好な研究環境と高品質の教育体制です。埼玉はトップクラスの研究施設と秋ヶ瀬や荒川彩湖公園など周りに美しい自然環境があるからです。

スポーツはサッカー、クリケット、テニス、そして釣りや歴史的な建造物や自然を訪れることが好き。日本の食べ物は、牛・鶏の鍋もの、そば、うどん、日本カレーの味が素晴らしい(納豆は、見たことも食べたことも無いそうです。)



▲友人と秋ヶ瀬公園でBBQ  
(アブドルさんは左端)



▲和紙作りに挑戦

大学内や近所にモスクがあり、ハラル食品店もあるので、モスリムとして生活面では困りません。コロナ禍で奥さんと2年も会えないのは淋しいけれど、さいたま市は自然の美しさに溢れていて、周りの人達が温かく助けてくれるので、毎日約16時間の研究生活をたいへんエンジョイしているとのことでした。

※1 ラジシャヒ(Rajshahi)ガンジス川下流のインド国境に近い都市

※2 奨学金制度:在外公館推薦に基づく文科省(MEXT)の制度。

## 世界のともだち



ターナバット君(タイ)



タイ出身のさいたま市中学一年生、ターナバット君を紹介します。

ターナバット君は、2017年に来日以来、岩槻の日本語教室で熱心に日本語習得に励んでいます。

当初は日本語が全くわからず、学校の授業についていくのが本当にたいへんで、日本語教室でわからない箇所を理解できるまで時間をかけて勉強し、今も野球部の練習後に真面目に通っています。

タイと日本の学校の違いについて尋ねると、「タイでは部活は週に一回授業としてある程度で、放課後にはやりません。日本の方が帰宅時間は2時間ほど遅いですね。また給食もなく、お昼は売店で買うことができます。タイは屋台で食べ物を買う文化なので、スクールバスは、帰りの途中に屋台の前で停車してくれたりします。」と話してくれました。暑くて辛いイメージのタイですが、住んでいたタイの北部の料理はマイルドで、日本料理もタイ料理もどちらも美味しいとのこと。暑さは日本の夏の方が暑く感じているようです。さらにタイでは一生に一度、仏門修行をする風習があり、ターナバット君も来日前に日本に馴染めるようにと2か月ほどお寺に通いました。

将来、なりたい職業はなんと漁師。釣りが好きで、釣れた魚の種類などを細かく説明してくれる様子を見て、「そこまで詳しいなら魚の研究員や博士が向いているのでは?」と提案すると、「それもいいですね。」とニコニコしながら明るく応えてくれました。



▲感染対策をしてお勉強



I'm really into this!!



# 私、コレにはまっています!!

Hola Amigos! アルゼンチン共和国ブエノスアイレス出身の知花ナンシさんの「私、コレにはまっています!」は情熱的なスペインのフラメンコです。

ナンシさんは埼玉県国際交流協会の講師として、県内の小・中学校でアルゼンチン文化を紹介しながら、さいたま観光国際協会国際交流センターのスペイン語通訳としても活躍しています。

アルゼンチン育ちでもあり、もともと情熱的なアルゼンチンタンゴが大好きでした。ある日、職場の仲間に誘われて初めて行ったスペイン料理店での出来事でした。店内はスペインの雰囲気が漂うとても素敵なステージがあり、ギター奏者とカンテ（歌手）が現れ、プロのダンサーによるフラメンコショーが始まりました。それはとてもかっこよく、時には力強く幻想的なフラメンコの情熱と迫力に心を奪われ、『よし!私もいつかこのカッコイイ踊りをステージでやりたい』と思いフラメンコにハマっていく生活が始まりました。

気が付けば趣味として始めたフラメンコも習い始めてから9年目を迎え、今となっては発表会のステージでフラメン



舞台上でパフォーマンス(ナンシさんは一番左)

コの先生から、「野生の暴れ馬」として紹介されています。

実は私がこんなにフラメンコに惹かれるのにはもう一つ理由があり、それは私の出身国であるアルゼンチンでスペイン語が話されているところにあります。フラメンコに含まれる意味が通じるからこそ、心にノスタルジーや情熱が何十倍にもなって伝わり、今となっては虜になっています。

今年の2月にInstagramでの生ライブに初挑戦し、その興奮が覚めやまない、その2か月後、きっかけとなったあのスペイン料理店で、あの時に見たステージでフラメンコを踊ることになりました。夢が叶ったようでとても嬉しかったです!

世界一カッコいい振り付けを考えてくれたALIMI先生ありがとうございます! Gracias!



## ユース向けミニオンライン講座



「世界を知ろう、ユースミニ講座(インド編)」が7月31日(土)に開催されました。

講師は法科大学院生のシュレヤス・アトレさん。予め参加者にインドに関する質問事項を募り、タブーな話題にも全てお答えするという形でプレゼンをしていただきました。

カースト制度の差別的発展、同意なしの結婚の歴史の背景には「マヌ法典」という法律の存在がありました。現在は、児童婚も禁じられており、結婚する年齢は男女とも日本と変わりません。またカースト制度による差別は下位カーストの人たちへの是正措置が取られ、今では高位カーストの人たちが受験や就職に不利になるという逆差別が起こっており、アトレさんが日本の大学に進学するきっかけにもなりました。

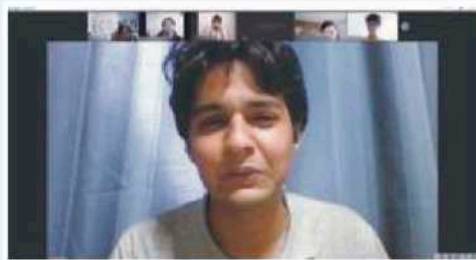
特に理系の教育にはとても力を入れているインドの学校は、1クラス60名、クラスはAからZまでであり、インド式ではなく欧米式の授業が今は主流です。

参加者は5名と少なめですが、プレゼン後も積極的に質問し、アトレさんも丁寧に答えていて、アットホームなオンライン講座となりました。



講座参加者のみなさんで

分かりやすいオリジナルの資料を画面共有しながらのプレゼン



司法試験の勉強の傍らTV等でも活躍中のアトレさん



## Myレシピ ⑤

～ベルギー編～



ベルギー出身の江草 シャンタルさんに、チョコリを使ったサラダを紹介していただきました。

### チョコリ※のサラダSalade de chicon

材料 3～4人分

- チョコリ1個 ●りんご1/4(皮をむいたもの)
- くるみ適量 ●ゴーダチーズ又はエメンタールチーズ
- ドレッシング  
(酢 大さじ1/2、オリーブ油 大さじ3、マスタード 小さじ1/2、ハチミツ又は砂糖 大さじ1/2、塩、コショウ)

※チョコリ…ヨーロッパが原産のキク科の野菜

#### 作り方

チョコリを洗って2～3センチに切る、リンゴの皮をむいて同じように切る、くるみを適量に切る、チーズも小さく切る。お皿に盛り付けてドレッシングの材料を混ぜてサラダにかけて召し上がってください。Bon appétit!



## おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



現在おしゃべりサロンを一部再開しました。

以下のことに留意いただき参加をお願いします。

- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅で検温
- 筆記用具の持参
- マスクの着用
- こまめに手指の消毒
- 参加記録確認書の記入(参加ごと、毎回)
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。



10月以降のスケジュールは  
HPをご覧ください。

詳細はこちら▶



新型コロナウイルスの影響で予定が変更することがございます。

## お知らせ

### ①(公社)さいたま観光国際協会(JACK大宮3F事務所)が「Bibli」(ビブリ)に移転します。

業務開始日 10月12日(火) ※移転作業日10月9日(土)／10日(日) 予備日11日(月)

新住所 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-1 Bibli2F(旧さいたま市立大宮図書館)

TEL 048-647-8338(従来通り) FAX 048-647-0116(従来通り)

営業時間 9:00～17:45(土日祝休) 備考 国際交流センター(浦和区)は移転しません



### ②「国際ふれあいフェアぶらす」開催します。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため、今年は以下2つの展開で開催します。

#### ●WEBバージョン

日時 10月11日(月)～

場所 さいたま観光国際協会HP

YouTube公式チャンネル“SaitamaTIB”にて

内容 「ふれあいフェア」の名場面等を紹介。

#### ●展示公開バージョン

日時 10月11日(月)～10月15日(金)

場所 コムナーレ9F(浦和バルコ上) 多目的展示スペースにて

内容 さいたま市姉妹・友好都市やスポーツ少年団の写真等を紹介。



### ③「にほんごのへや」オンライン学習のお知らせ

「にほんごのへや」はオンライン学習を始めました。Zoomで日本語の勉強ができます。

申し込み <https://forms.gle/cW188xxUnjAjoEzd9>



## 公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)  
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F(JR浦和駅東口 浦和バルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail [iec@stib.jp](mailto:iec@stib.jp) URL <https://www.stib.jp/kokusai>

